

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

① 第三者評価機関名

NP0 法人 りふ福祉サービス利用者センター びーすけっと

② 施設・事業所情報

名 称	： 加納西認定こども園	種 別	： 幼保連携型認定こども園
代表者（園長）	： 日比 利栄	定員（利用人数）	： 105 名 （117 名）
所在地	〒500-8462 岐阜市加納神明町 4-12		
TEL	： 058-213-0013	ホームページ	： https://www.wakokai.ed.jp/kanouni/
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	： 平成 22 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人代表）： 社会福祉法人和光会 （理事長 山田豪）			
職員数	常勤職員： 29 名	非常勤職員	： 9 名
専門職員	（専門職）		
	保育教諭 30 名	看護師	1 名
	保育士 1 名	管理栄養士	1 名
	調理師 3 名		
施設・設備 概要	（居室数）	（設備等）	
	保育室 6 室	調理室・食品庫・調乳室・沐浴室・ 遊戯室・事務室・職員室・休憩室・ 園児用トイレ3カ所・職員用トイレ3カ所 バルコニー・倉庫・屋上	

③ 理念・基本方針（※転載）

理念

- ・一人ひとりを大切にし、生きる力を育みます。
- ・地域に根差し、子育ての拠点を目指します。
- ・意欲と知恵と工夫により、子どもの幸せを実現します。

基本方針

- ① 五感を刺激する豊かな環境をつくり、一人ひとりを大切にし子どもの生きる力を育む。
- ② 地域の人や多世代との交流を通じ、基本的な生活習慣や態度を学び、思いやりの心、感謝の心を育てる。
- ③ 創意工夫により教育・保育をすすめ、子ども、保護者、地域に信頼されるよう努める。
- ④ 地域に根差した子育て支援を展開する。

⑤ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・ 絵画・体操・ダンス・英語・サッカーなど外部講師の指導で子どもの能力や興味を引き出す知育活動や野外自然活動、本物に触れる体験、木育、食育、モンティソーリ思想を取り入れた保育など心豊かに育つための多彩なプログラムを用意し、理念を実践している。
- ・ 子育て支援、親子教室、園庭開放、子育て相談等、地域ニーズに合った活動を展開し、地域の子育ての拠点となり、学校との交流や生徒の体験学習にも貢献している。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月18日（契約日） ～ 令和5年3月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（前回 平成29年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

【子ども主体の保育実践】

美術館、科学館、城址公園など公共交通を利用して出掛ける園外活動や、自然環境の中での遊びを通して子どもの力を引き出す「モリノス」での体験活動を取り入れ、子どもの主体性を尊重し伸ばす保育が行われている。モンティソーリ教育や木育に取組み、そのために職員が研修を受け、さらにより良い保育を模索する姿勢を評価したい。国の配置基準より多い保育士を置き、職員間で子ども一人ひとりの成長プロセスを喜び、保育理念、方針を丁寧に実践している。

【園長のリーダーシップ】

前任の園長から引き継いだ時にコロナ感染が始まり、地域交流の自粛や行事の縮小、環境整備等で感染症対策に職員が一丸となって尽力し、コロナ禍でも出来ることを工夫する創造力と結束力へと指導力を発揮している。園長が率先して保護者や子どもたちとコミュニケーションを取り、安心感や信頼関係を築いている。また、常に職員には「子どもにとって今一番何が必要か、大切なか」を問いかけ、職員一人ひとりの得意なことが活かせる保育指導で人材育成に努めている。

【充実した食育への取組】

栄養バランスに配慮し、行事食は子どもが喜ぶ盛り付けの工夫で給食を提供している。管理栄養士がクラスを巡回し食べる様子を観察したり感想を聞き、子どもが理解できる説明で食の学びにつなげている。庭園の樹木は実のなる木が多く、身近で季節や地産地消を知るこ

とができ、菜園づくり、収穫物でのクッキング、大豆からの味噌作りなど食育の推進に力を入れている。

【前回の評価結果についての取組】

前回の改善点に、保護者向け掲示版の場所の工夫が挙がっていたが、掲示版に代わるドキュメンテーションやポートフォリオ、動画、ホームページ、園だより等、多様な伝達手段で保護者への情報がより迅速に提供されている。また、駐車場についての課題には根気よく対応し、保護者の声に真摯に向き合っている。

◇改善を求められる点

ドキュメンテーションやポートフォリオ、動画等の導入は、子どもの成長を可視化でき、職員、保護者の情報共有として有効に活かされている。写真撮影は、その場その時の子どもの感動を共有することを大切にし、職員は状況を見計らいながら撮っている。保護者の理解を得ながら、子どもの成長を共に共有する媒体として今後も活用されたい。

事業運営や保育実践の自己評価を通して、さらに高みを目指し課題を見つける姿勢が見て取れた。今後、多様化するニーズへの対応や少子化時代に向け、選ばれる園としての実践に期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・今回、福祉サービス第三者評価を受け、自分たちの保育や園の運営について、新たな気づきを得ることが出来ました。良い評価を頂いているところは、継続していきながら、子どもを中心とした保育実践を丁寧に行っていきたいと思います。又、課題を見つけ、職員間で話し合うという姿勢が保育の質を高めていくことにつながると思います。外部の方に見て頂くことは、私たちにとって、とてもプラスになりました。社会情勢が目まぐるしく変わっていく中、子どもの最善の利益を考え、進化し続けていきたいと思っています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正版

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
良い点／工夫されている点： 理念・基本方針はパンフレット・ホームページ・年度始めの園だよりに記載し、玄関ホールの目に付きやすい場所に掲示しており、広く周知を図っている。職員の入職時には必ず法人の理念、園の保育目標・方針について話し、年度始めに理念を基に、職員一人ひとりが意識して保育実践につなげるよう伝え、解釈の差異がないように具体的な説明で周知させている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
良い点／工夫されている点： 社会福祉事業を幅広く経営している法人組織の中に子育て事業部があり、法人本部が事業経営に係るコストや利用者分析を行っている。その分析となる情報を園長が園所長会議や研修会、自己研鑽などで保育を取り巻く経営動向や利用者ニーズの収集に努め、法人本部に挙げている。それを基に法人本部が事業経営に係るコストや利用者の推移を分析し、適切な経営状況を打ち立てている。		
改善できる点／改善方法：		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
良い点／工夫されている点： 年2回、経営管理書を作成し、事業活動計算書月次推移表で経営課題を明確にしている。子育て事業部と園長との間で課題を分析し、国の職員配置基準以上に職員を投入し、人への投資で保育の質の確保に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されてい	a

	る。	
良い点／工夫されている点： 法人としての中長期ビジョンが明確化されており、子育て事業部としての中長期経営目標達成の重点項目①福祉事業②環境③資源対策④健康経営⑤人材育成⑥地域貢献の6項目で明確にしている。法人本部と連携し、子育て事業としての具体的な数値目標や課題に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
良い点／工夫されている点： 中長期計画を踏まえ、期首に毎月目標と収益、人件費を数値化している。上期下期に実施状況を評価し、課題を見つけ次につなげている。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
良い点／工夫されている点： 法人本部で事業計画の実施時期や評価時期が定められており、リーダー会議や職員会議等での職員意見を汲みあげ、園長が報告している。職員が互いに学び合い、やりたい保育を尊重し、策定した事業計画は職員に周知し、個人目標につなげている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
良い点／工夫されている点： 事業計画は年度始めの園だよりやクラスたより、ホームページを活用して保護者等に周知している。保護者会での説明がより理解を得られるが、コロナ禍で保護者会の開催を自粛しており、職員が口頭で説明する時や、資料で理解につなげている。		
改善できる点／改善方法：		

I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
良い点／工夫されている点： 日々、保育の振り返りで、子どもたちの関心や興味に合わせた教材選びや環境づくりを話し合い、ドキュメンテーションやポートフォリオ、動画等の作成で保育の質の向上を常に意識している。年1回園の自己評価を行い、県の第三者評価受審も継続して取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a

良い点／工夫されている点： 主幹保育教諭や指導保育教諭、リーダーが中心になり「子どもにとっての最善の保育」を実践するためにリーダー会や職員会で意見交換を行い、課題についての改善を図っている。
改善できる点／改善方法： これまで通りの保育実践は職員にとって安心でやり易いが、保育の質への取組にこれで満足はなく、新しい保育・教育のモデルを自分たちが作っていく気概を持ち、さらに高みをめざしている園の姿勢に期待したい。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
良い点／工夫されている点： ホームページで園長として保育に対する姿勢を表明している。運営規定や事務分掌表で園長の役割と責務が文書化され、職員会で周知を図っている。組織図があり、有事の際の指揮命令系統が明確で、園長不在時の代行業務の位置づけも明らかになっている。 改善できる点／改善方法： 園則や重要事項説明書の見直し作業や掲載の仕方など検討中である。時代に合わせた見直しが必要であり、法人として改訂が進んでいる。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 法人としてコンプライアンスに関する基本方針が策定され見直しも行っている。年1回はコンプライアンス研修の受講が必須であり、職員の意識を高めている。特に個人情報の取扱いに気を付け、書類の持ち帰り禁止やホームページでの写真や保護者向け写真、動画配信など、拡散が起きないように職員指導に努めている。 改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
良い点／工夫されている点： 園長は現場経験を経て就任し、コロナ禍でこれまで実践してきたことが出来ないこともあるが、導入しているドキュメンテーションやポートフォリオを活用して保育実践を振り返り、その中から出る職員の意見に耳を傾け、助言や一緒に話し合える環境を作り、指導者として職員教育に尽力している。 改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
良い点／工夫されている点： 法人本部の理解を得、基準の職員配置より多い人員配置でサービスの質を担保し、どのクラスも質の高い保育		

で、クラスの空き状態はなく、安定した経営に努力している。ICT化の推進や書類の簡素化、業務改善で経費削減につなげるなど園長の指導の下、質を低下させることなく取組んでいる。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
良い点／工夫されている点： 法人本部に人事課があり、連携し人材確保の計画を立てている。大学就職課や県保育士保育所支援センターとの関係づくり、保育ジョブフェアへの参加などで人材確保に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
良い点／工夫されている点： 人事管理は法人本部が行い、e-work システムでの客観的な人事考課制度で、本人の自己評価と管理職との面談で評価が実施されている。職員一人ひとりが年2回目標設定を図り、達成度を確認し次のステップにつなげている。		
改善できる点／改善方法： 昇格昇進制度でめざす目標が明確になっているが、責任の伴う役職のポストに尻込みする職員が多く、モチベーションにつながる取組を模索している。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
良い点／工夫されている点： 育児休業、介護休業や法人独自の特別休暇の取得制度が整備され、職員個々の有給休暇消化率や時間外労働の就業状況を把握し、働きやすい職場環境にある。年2回の人事考課面談を通して職員の希望や意見を聴取し、法人内に悩み相談窓口の設置もある。ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境に努め、県の認定も受けている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 年度始めに園長が園目標を立て、職員に周知している。目標管理制度を活用し、職員一人ひとりが目標を立て、その目標の達成度を年2回の面談で評価し、進捗状況とフィードバックを行い、職員の自信と向上心につながる育成に取組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a

良い点／工夫されている点： 年度始めに年間研修計画を策定し、新任、階層別、キャリアアップ研修など経験年数や等級に合わせ必要な研修が実施されている。法人全体の内部研修、外部研修など豊富な研修の機会を用意し、報告書の提出や伝達講習を行っている。研修の成果を評価し保育業界の実情に合った研修の見直しに努めている。		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
良い点／工夫されている点： 研修計画に基づき、職員一人ひとりのスキルや希望に合わせて参加できる機会を提供している。コロナ禍でのリモート研修は参加し易く有効に活用している。個別のOJTで管理者層に相談や指導を得ることが出来る体制にある。園独自に取り入れているモンテッソーリ思想を取り入れ保育の研修も継続している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
良い点／工夫されている点： 実習生についてのマニュアルを整備し、保育実習、看護師・管理栄養士の実習を受け入れている。受け入れ先の学校と連携し実習内容やプログラムを用意し、実習生とのオリエンテーション、カンファレンスを行い、積極的に実習生の育成に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
良い点／工夫されている点： ホームページに保育理念・基本方針・保育内容を掲載し、運営姿勢を開示している。法人評議員会で事業計画、事業報告、予算、決算を報告し、業務の適正化がチェックされ、福祉情報サイト（ワムネット）で会計書類、現況報告書など公開し、運営の透明性に努めている。地域向けのパンフレットに活動内容を紹介し、来訪者が自由に手にすることができる。		
改善できる点／改善方法：		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
良い点／工夫されている点： 法人として事務、経理、取引に関する文書が整備されており、職務分掌で権限、責任が明確化されており、職員に周知している。法人の内部監査と、法人契約の監査法人によるチェックを受け、適切な運営に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 法人全体で、地域との連携を大切にすることを基本方針にしており、園も地域との関係づくりに尽力している。コロナ禍で地域との交流には制限があるが、老人クラブとの交流、地域にある高校文化祭の案内がある。園外活動時に園児はマスク越しではあるが地域の人と交わす挨拶は継続して取組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
良い点／工夫されている点： ボランティアマニュアルが整備され、受け入れ体制を明示している。コロナ禍で今は出来ないが、地域の中・高校の福祉体験や職場体験の場を提供している。地域団体からは、絵本の読み聞かせや園庭畑の野菜や花の管理ボランティアとして協力を得ている。法人ホームページでも多種多様なボランティア登録を呼びかけ、活動を推進し地域交流につなげている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
良い点／工夫されている点： 行政が発信する情報から、園が必要な情報を精査し、子どもと保護者のニーズに合わせて社会資源を活用している。市担当部署、保健センター、子ども相談センター、消防署、警察、地域の小中学校、地域の団体など幅広く関係機関や団体と連携を図り、地域と共に地域の子どもを育成する姿勢にある。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
良い点／工夫されている点： 園長は校区内小学校の運営協議会委員を受任しており、コミュニティスクールに参加し、地域の福祉ニーズを把握している。また、園庭開放や子育て相談等の活動を通して子育ての具体的課題を知る機会になっている。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
良い点／工夫されている点： 法人の持つ支援体制が豊富に整備され、地域貢献活動が活発に行われており、園では園庭開放、子育て相談、一時預かり保育などの事業に取組んでいる。地域の子育て支援の拠点としてまちづくりへの関わりに意欲的である。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 法人の基本方針「個人の尊重」、保育理念「一人ひとりを大切に」を明示し、子どもを尊重した保育に取り組んでいる。ドキュメンテーション、ポートフォリオを導入し、一人ひとりの育ちに焦点を合わせた保育に努め、主体性を尊重した保育ができているか振り返り、全職員が共通の保育姿勢で臨む取組みに努めている。人権擁護委員会による人権教室を毎年開催し、子どもにも分かり易い説明があり、職員は人権意識を深める機会となっている。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
良い点／工夫されている点： 個人情報保護の基本方針を園内に掲示し、年1回職員研修を行い、無意識にプライバシー保護に反する行動をとっていないか振り返る機会としている。保護者には入園時に送迎者登録や肖像権について説明し、園で写真を撮ることが多く、取扱いや目的外に流出させないよう注意している。外出時は園連絡先のワッペンのみで名札を付けないルールや、プール利用時には外部から見えないよう目隠しを設営するなど適切な支援で対応している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
良い点／工夫されている点： ホームページで園のめざす保育を明確にし、その内容や取組みは写真を活用した分かりやすい情報となっている。利用希望者には必ず見学してもらい、園児の様子や園内を廻り、丁寧に説明している。定員充足で入園希望に応じられない場合もあるが見学には応じている。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
良い点／工夫されている点： 入園時に「入園の案内」「重要事項説明書」で保育内容を説明し、保護者は契約書署名と同意書を提出している。年度始めに年間行事計画を配布し、変更がある場合は早めに園だよりで知らせ、再度周知を図っている。園外保育や災害時の保育について、登園時間の変更や対応等を連絡ノートや日報、メール配信、口頭などいろいろな方法を駆使して情報に漏れがないようにしている。		
改善できる点／改善方法：		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 保育所変更は、市担当課と連携し、手順と引継ぎ要綱に準じて対応している。子どもの生活の継続性に配慮し、転園先に園での成長履歴等の情報を提供し、子どもの育ちの継続につながる支援に努めている。ホームページを使いメールでやり取りができ、転園後や保育修了後でも保護者が相談できることを伝えている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 登園時、保護者と挨拶を交わし、子どもの様子を聞くように心がけ、降園時には1日の様子を伝え保護者が気軽に話せる関係を大切にし、個別懇談会やクラス懇談会で保護者の意向把握に努めている。行事後にアンケートを行い、意見や要望等を運営に反映させている。今後さらに保護者の声を聴くワークショップ形式を充実させ、利用者満足の上昇に取組む意欲を示している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
良い点／工夫されている点： 入園時に配布する重要事項説明書に苦情等の受付や意見箱設置の案内を記載し、園内にも苦情解決の仕組みや第三者委員の連絡先を明示している。苦情解決は法人本部と一体になり組織的に対応する体制にあり、ホームページにも苦情対応の掲載欄がある。いろいろな媒体を活用し周知に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
良い点／工夫されている点： 保護者には、苦情ではない相談や意見も「投書箱」を活用して欲しいと、周知させている。どの職員も相談に応じ、園長へ引継ぎ、時間を取っての対応が必要な時は、プライバシーに配慮した部屋でゆっくり相談できる環境を整備している。内容によっては園で「できる事、出来ない事」を丁寧に説明し、保護者と真摯に向き合っている。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
良い点／工夫されている点： 保護者からの相談や意見を待つのではなく、職員一人ひとりが日頃から積極的に保護者とのコミュニケーションに努めている。職員が子どもの様子や園内で気になることを一人で抱え込まないよう職場環境に配慮し、相談や意見の取扱いのマニュアルに沿って迅速に対応している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
良い点／工夫されている点： 法人で事故事件対応マニュアルを整備し、組織的に取組む体制にあり、法人のリスクマネジメント委員会で年1回弁護士による研修会を実施し、園長と管理者層の職員が参加している。ヒヤリハット報告書を常に分析し、危険箇所は早急に修繕し、職員の気づきを全員で共有し、子どもの安全対応の共通理解で取り組んでいる。保育園等で起きた報道事例を取り上げ、園での対応を振り返りリスクマネジメントの意識強化を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 福祉、医療事業を展開している法人との連携で、感染予防の管理体制が充実している。法人の感染委員会に園の看護師が参加し、予防対策の最新情報を職員研修で取り上げ、感染症予防の徹底に努めている。マニュアル等を定期的に見直し、現状の即した対応を行い、コロナ感染対策では子どもが触れる場所の消毒、定期的な換気、検温、手洗い等を徹底して実施している。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
良い点／工夫されている点： 自然災害対応マニュアルを整備し、法人の防災委員会や危機管理対策室で災害体制を構築している。市の災害時対応に準じて避難場所や行動等を保護者に周知している。毎月、様々な事態を想定した避難訓練を実施し、保護者との連絡を確実にしている。備蓄品リストを整備し、アレルギー児への対応も考慮し災害時に備えている。法人のBCP 防災計画があり、園として出来ることを検討している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
良い点／工夫されている点： 保育理念や保育指針に基づき、全職員が「幼児期までに育ってほしい姿10項目」を外部研修で学び、保育姿勢を一致させている。初年度の全体的な計画、指導計画、月案、週案を作成し、毎日10分間ミーティングの時間を持ち、クラス担当者間で実践の振り返りを行い、課題を次につなげている。保育実践に必要な各種マニュアルを整備し、職員へ周知し標準化を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
良い点／工夫されている点： 職員間で保育のやり方や特徴を明確にし、今の標準的な実施方法で、園がめざす「繋がる保育」「子どもの声を聞		

く保育」の実践が出来ているか検証し、見直している。保育方針を全職員で話し合い、保育の標準化を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
良い点／工夫されている点： 市の統一されたアセスメント様式を使い、規程の手順でアセスメントし指導計画を作成している。園での生活、保護者の思いや家庭の様子など連絡帳で情報交換し、送迎時の会話で得た内容もアセスメントに活かしている。現在、支援困難なケース対応は無いが、必要な時は法人運営事業の多機能性の活用や関係機関との連携体制にある。		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
良い点／工夫されている点： 指導計画について、クラス内で話し合い課題を共有し、職員会で評価・分析し、今後の保育展開につなげている。ドキュメンテーション、ポートフォリオを活用し、指導計画に基づいた保育展開を保護者と共有し、保護者のニーズに合った保育支援に取組み、都度見直しを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
良い点／工夫されている点： システム（チャイルドケアウェブ）を活用し、一人ひとりの発達状況や生活状況、園での活動等を記録している。他のクラスの保育実施状況も共有でき、子どもの観察視点を話し合い、本人の思いを汲み取った保育実践の記録となるよう育成している。ポートフォリオやドキュメンテーションで捉えた子どもの姿は生きた記録として職員間で共有している。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
良い点／工夫されている点： 法人で個人情報保護規程が整備され、記録の管理体制が確立している。職員はコンプライアンスについての研修に参加し、記録の管理の徹底や情報を漏洩させないよう常に意識して取組んでいる。また、ホームページにおいて、保護者むけの動画配信は、パスワードで視聴できるようにしており、毎年パスワードを変更している。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-1 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
--	---------

IV-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
良い点／工夫されている点： 時代背景に合わせ、子どもにどのような資質や能力を育てていきたいかを考え理念や目標を立てており、保育理念や保育方針を基に、家庭との連携や地域を大切にしたい全体的な計画を作成している。子どもの主体性を尊重し、年齢別に目標を立て毎年職員間で計画を見直している。	
改善できる点／改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
良い点／工夫されている点： 3歳未満児の教室は、寝る空間と食事・遊びの空間を分け、生活リズムに配慮した環境を作っている。廊下にはソファが置いてあり、休憩や保護者を待つ時に使用している。カブトムシやメダカを飼育しており、子どもがいつでも見られるように玄関ホールに置いている。年2回、薬剤師会による環境等の衛生検査を受けており、すべて基準値を満たしている。常に換気をしており、天上にファンを付けて空気を循環している。	
改善できる点／改善方法： 使わない机や椅子は片付け、保育室空間をできるだけ広く確保できるとなると良い。	
IV-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 余裕をもった職員配置で、3歳未満児クラスは、緩やかな担任制を取っており、一人ひとりの生活リズムに合わせた保育を行っている。3歳以上児クラスは、「みんないっしょに」という考え方ではなく、子どもの声をききながら、子どものやりたい事を実現できる保育を進めている。モンテッソーリ思想の保育も取り入れ、子どもの主体性を大切にしている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 上着を掛ける場所が分かるように、子どもごとにマークを付け、自発的に自分で出来る環境を作っている。排泄時のパンツやズボンの脱ぎ着や靴の履き替えのために低いベンチを置き、発達に応じ必要な時に適切な環境整備や援助を行っている。保護者にはクラスだよりや連絡ノートで、うがいや自分で服の着脱をする様子など、写真と共に発信し、子どもの成長を共有している。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
良い点／工夫されている点： 自然の中での遊びを大切にしており、外で遊ぶことを多く取り入れている。登園後はクラス活動の前に園庭で遊び、行事で近くの公園や森林総合教育センターへ出かけている。保育室は、ままごとや絵本、ブロック、遊びの玩具、季節の素材等を用意し、子どもが主体的に遊びを豊かにする環境を整えている。木育にも力を入れており、親子でワークショップを通して自然を学ぶ機会を設けている。	
改善できる点／改善方法： 遊戯室に絵本コーナーや木育コーナーがあるが自由に出入りできないので、子どもたちが日常的に楽しめる工夫があると良い。	

IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 愛着関係が持てるように保育者と一対一で関わる時間を作ることや、ふれあい遊びを大切にし、子どもの気持ちを尊重した保育に取り組んでいる。連絡ノートや送迎時に保護者とコミュニケーションをとり、その日の子どもの様子を伝えている。オムツ交換時はプライバシーに配慮した環境にある。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点、／工夫されている点： 1歳児クラスの担当制や、2歳児クラスの少人数グループ活動の環境で、五感を促す保育に取り組んでいる。友達との関わりが増えていく時期であり、子ども同士のトラブルや、玩具の取り合いになった時は、双方の思いを受け止め、互いが納得できるように丁寧に対応している。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： グループ別での活動や遊びが、子どもの「やりたい」が実現できるよう、子ども同士の話し合いの場を設けている。興味を持ったことを深めていけるようつながる保育をおこなったり、行事につなげていくなど子どもの自主性と発展的活動を支援している。月1の頻度で絵画、体操、サッカー、英語、ダンスなど外部講師による教室を実施しており、各種教室の主旨目的を掲示し養護と教育の保育に取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 個別指導計画を作成し、関係機関と連携を取りながら発達に応じた対応を行っている。また、法人内に発達支援センターや小児リハビリテーションがあるので、相談することが出来る。保護者とは記入欄が広い連絡ノートを使い、より多くの情報を共有し、安心安全な保育に努めている。保育者は研修で障がい児の理解を深め、保護者への対応スキルも学んでいる。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 早朝保育利用の子どもが多く、一人ひとりの家庭での生活リズムを視野に入れ、食事、午睡、おやつなど提供時間に配慮した環境を整えている。1日の保育に静と動の活動を取り入れ、身心とも安心して穏やかに過ごすことができる保育を実践している。どの職員もすべての子どものことが把握できるように、話し合う時間を確保している。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a

良い点／工夫されている点： 就学前には小学校の先生が年長児クラスの見学に訪れ、入学後は園長や卒園児を受け持った職員が授業参観に出向き卒園児の学校生活を確認し、意見交換を行い関係性を築いている。コロナ禍以前は、年長児が小学校の見学を実施していたが今は自粛している。保護者と個人懇談を行い安心につなげ、子どもの成長過程を記録した指導要録を作成し、就学先となる小学校へ送り連携を図っている。
改善できる点／改善方法：

Ⅳ－３ 健康管理

	第三者評価結果
Ⅳ－３－（１） 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
良い点／工夫されている点： 医療事業を運営している法人から、健康管理の最新情報が入り、園に必要な情報を職員と共有している。コロナ感染症対策について、子どもの年齢に応じた対応と保護者への協力で、毎日の体調記録を取り予防に努めている。各家庭からの布団運搬を廃止し、スタッキングベッドの導入で保護者の負担軽減と衛生面に配慮している。3歳未満児の乳児突然死症候群（SIDS）防止のため、午睡センサーを付け、タブレット等で管理し、目視も徹底させている。薬が必要な子どもは、保護者が「薬連絡書」を毎回記入し「薬剤情報提供書」を職員間で共有し、誤配を防いでいる。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－３－（２） 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
良い点／工夫されている点： 毎月の発育測定と、年2回内科健診、歯科健診、年1回眼科健診、耳鼻科健診を実施している。結果を保護者に報告し、治療が必要な子どもについてはその後の受診状況を確認し、児童票と健康管理記録表に記入し、職員間で共有している。肥満やむし歯がある児童数を把握し、家庭での生活改善につながる情報を提供している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－３－（３） アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
良い点／工夫されている点： アレルギーの子どもの給食は、管理栄養士が中心となり3重チェックを行い、トレーで提供している。食事中は事故を防ぐため他の子どもと席を離し、3歳未満児はマンツーマンで対応している。毎月、管理栄養士や調理員、園長、担任、保護者を交えたアレルギー検討会で、除去食や持参食を確認している。「アレルギー対応ガイドライン」や「エピペンの取り扱いマニュアル」があり、職員研修を実施している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－４ 食事

	第三者評価結果
Ⅳ－４－（１） 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
良い点／工夫されている点： 食育年間計画を管理栄養士が年齢別に作成している。行事食はその行事に相応しい盛り付けに工夫し、３歳以上児は、給食の配膳を自分たちで挑戦する取り組みも行っている。管理栄養士が直接、子どもたちのクラスに出向き、食事の様子を観たり、感想を聞き、食育の話などを行っている。園庭で野菜を育て、園児と一緒に収穫し調理方法を考え、食べる楽しみと食育に取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－４－（２） 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
良い点／工夫されている点： 「市保育所給食衛生管理マニュアル」を整備し、マニュアルに従い衛生管理を徹底している。毎年、市の監査が行われ、薬剤師による衛生調査も年3回行っている。年中組が大豆から1年かけて味噌を作り、食文化を知る取り組みもしている。地産地消で栄養価も高く県内産の牛乳を提供し、子どもたちに好評である。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅴ 子育て支援

Ⅴ－１ 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
Ⅴ－１－（１） 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 保護者向けに連絡ノートやポートフォリオ、ドキュメンテーションを活用し、子どもの様子を発信している。クラスだより、園たより、ほけんだより、きゅうしょくだよりは、直接メールで送り、印刷したものも窓口に常備している。年2回の個人懇談で家庭の状況や子どもの成長を共有し、必要に応じて記録に残している。玄関ホールにその日の給食メニューを張り出し、サンプルを週2回展示し、家庭での食生活の充実につなげている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅴ－２ 保護者等の支援

	第三者評価結果
Ⅴ－２－（１） 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 登降園時のあいさつと声掛けを大切にし、降園時は子どものその日の行動で良いところを伝えることを心掛け、保護者とのコミュニケーションを図っている。保護者の様子が気になる時には声掛けし、相談室で対応することもできる部屋がある。保護者が感情的な時には、職員のメンタルにも配慮し、園長が適切に対応し互いが歩み寄り関係づくりに努めている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅴ－２－（２） 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
良い点／工夫されている点： 虐待対応マニュアルを整備し、毎年、権利擁護や虐待防止の研修会を実施し、職員の意識統一を図っている。日頃から子どもの表情や発する言葉に耳を傾け、保護者の態度にも注視し、法人本部や市担当者、子ども相談センター等関係機関との連携で早期の虐待防止に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅵ 保育の質の向上

Ⅵ－１ 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
Ⅵ－１－（１） 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a

良い点／工夫されている点： 作成したドキュメンテーションやポートフォリオを参考に、毎日10分間ミーティングを行い、子どもの発達段階に合わせた保育が実践されているか振り返り、リーダー会や職員会でさらに専門性を深めている。年2回の人事考課で、各保育者が自分の目標の振り返り、それを基に園全体の自己評価につなげ、改善点を明らかにし保育の質の向上に努めている。
改善できる点／改善方法：

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	a
良い点／工夫されている点： 園庭と玄関に防犯カメラが設置され、定期的な警備員の巡回と、法人本部と緊急体制が構築されている。法人の保安課による不審者対応訓練を実施し、登降園時の保護者確認を確実にし、連れ去り防止に努め、警察署との連携体制が取れている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a
良い点／工夫されている点： 年度始めに年間行事予定を配布し、変更は早めに案内し参加しやすい配慮をしている。保護者も一緒に参加ができる保育参観も取り入れ、年長組は親子で参加するワークショップを行っている。コロナ禍にあって感染予防対策に努め、計画した行事がクラス別に参観できるように工夫し、参加できなかった保護者はホームページで行事の様子を観ることができる。今後、働く保護者のために一定期間を設けた保育参観の開催を考え、より多くの保護者が保育参加に出席できる環境をめざしている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	a
良い点／工夫されている点： コロナ禍で保護者会の開催ができないでいるが、園と保護者会役員でクリスマスや進級のプレゼント選定、卒業アルバム作成について意見交換し、園で出来る事は協力している。コロナ収束後には、保護者会の力を借りながら一緒に何か企画し取り組める関係作りができないか検討している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

		第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。		a
良い点／工夫されている点： 園児のほとんどが、校区内の小学校に入学しており、就学前の見学や1年生と直接交流の機会があったが、コロナ禍で中止となっている。代わりに自然物を使った玩具を園に持ってきてもらったり、手紙のやり取りで交流		

している。園長が小学校運営協議会員であり、地域のコミュニティスクールに参加し、小学校や保育園、幼稚園等と情報を共有し、円滑な連携を図っている。
改善できる点／改善方法：